

「 現代教育に必要なこと 」

熊本県立熊本北高等学校 普通科(文系)・英語科
総合的な探究の時間 ○○班

1 研究の動機

私達は、日々学校で教育を受けている。しかし、その教育を受けている中で社会に出た時に求められる人材となるのかと疑問に思うものもある。例として、学校教育では勉強の知識だけで、マナーなどを学ぶ機会が軽視されているように感じられる。だが、社会に出るとマナーを求められる事がある。そこで、現代の教育において何を学ばよいか知りたいと考えた。

2 研究の方法

- ・ ”社会人基礎力” と学校教育の関係性について調べる。
- ・ 学校教育によって向上する ”社会人基礎力” の課題についてまとめる。
- ・ 日本標準職業分類によって区分された11の職業のそれぞれに必要な能力について調べ、分野ごとにどういった能力が必要とされているかをまとめる。
- ・ 前にまとめた課題と比較し、改善点を考える。

※まとめる際に、各項目に課題がないかを○、△、×により判別している。

○：大きな課題なし △：判別することが難しい ×：課題あり

※◎：詳しい内容

3 研究の結果

① 「前に踏み出す力」 [アクション]

(1) 主体性：他人の意見や指示に頼らず自分の意志で決断を下し、下した決断に責任を持って行動できる性質◎

放っておいても、勝手に成長し、勝手に会社に貢献してくれる人材が入社してくれればマネジメントコストをかけることなく会社の業績を伸ば

していくことができるから、企業は主体性のある人材がほしい。
→学校では、教師は生徒に与える側であり、生徒からしてみれば他律的/受動的である。×

(2)働きかけ力：相手に納得してもらえるように働きかけ、状況に応じて効果的に巻き込む力◎

この力が必要な理由として、仕事は一人でできないから（他人との協力が必要）、自分の目標を達成するため、自分の考えを相手に伝えるため等がある。

→部活（アルバイト等）という働きかけ、働きかけられる場に身を置いている。○

(3)実行力：目標へ向けて計画を立てて、最後までやり遂げる力のこと

◎この力は目標達成へ向けて仕事を推進するうえで不可欠なスキルである。

→生徒自身による目標設定を行なうが、設定した目標を達成するかは個人差あり。△

②「考え抜く力」 [シンキング]

◎現在やこれからの社会では単純に考えるだけでなく、何事にも疑問を持って課題解決にむけて考え抜くことができる人材が求められているため、将来働いていく上で役に立つようになる。

◎身につけるために全体を捉えること、自分の意見を持つこと、根拠を深掘りすることが必要になってくる。

(4)課題発見力：現状に満足せず、今よりもっと良くできないかと課題を見つけ出す能力

→これを高めるスキルの会得が学校という場において困難である。×

⇒『ヒアリング力』会話を用いて会得するスキルである為コロナ感染の可能性があり現時点で身につけるのが難しい。

⇒『クリティカルシンキング』前提や思い込みを一旦ゼロにして考えるゼロベース思考を実践する点において、学校という固定概念が強い場所では困難である。

(5)計画力：問題点を明らかにし、それを解決するための方法や順序を事前に考える能力

→学校は登校完了や完全下校の時刻が決まっていたり、授業時間、休憩時間、移動教室という常に時間を意識しなければならない状況下にある為、基本となる時間を意識して行動するという点において有利であるが、遅刻等を繰り返す生徒も少なくないことから大きな個人差があると言え

る。△

(6)創造力：新しいものを作り出す能力

→クラスという集団をまとめ決定事項を期限内に一斉に終わらせる必要のある学校側にとって、時に独自の方法やペースで物事に取り組もうする『創造的な人間』というのは学校にとって好ましくない存在に映りがちになる。×

③「チームで働く力」 [チームワーク]

(7)発信力：自分の意見をわかりやすく相手に伝える力

→コロナ感染の可能性があることから会話を用いる教育の機会が減少した。×

(8)傾聴力：相手の話に耳を傾け、熱心に聴く力

→ (同文) ×

(9)柔軟性：ルールや自身の主張などに固執し過ぎることなく、その場の状況や変化に応じて適切な判断を下し、行動できる性質

→上と同じ理由で意見を交わす機会が減少している。×

(10)状況把握力：周囲の人々や物事と自分の関係性を理解する力

→体育祭や文化祭の準備等の機会はあるが、向上させるには足りない。×

(11)規律性：ルールや約束を守り、状況に応じて自らを律する性質

→校則があり学校では礼儀作法を学ぶ。教室内で毎日クラスメイトと接し人間関係を築く練習となっている○

(12)ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力

→様々なストレス（失敗、恥をかく、緊張等…）を経験することで鍛えることができる為、学校は鍛える環境としては良き環境だと言える。○

●11の職業と社会人基礎力の関係性

・管理職：部下のリーダーとなる為、コミュニケーション能力や問題解決能力が必要=③、(2)、(4)

・技術職（研究職）：周りの人と協力できるコミュニケーション能力、自分から行動できる主体性＝③、(1)

・事務職：PCのスキル、仕事に対する注意力や誠実さ、社内外とのコミュニケーション能力＝③、(1)、(3)、(4)

・販売職：客が求めているものを把握、提案できるコミュニケーション能力、臨機応変な対応、要領の良さ＝(3)、(7)、(9)、(10)

・サービス職：人のために尽くすことができる、人と関わるのが好き、社交的、コミュニケーション能力がある＝③

・保安職（自衛官）：体力、忍耐力、環境に適応できる順応力＝(11)

・保安職（警察官）：正義感、体力、コミュニケーション能力＝③

・農林漁業職：生き物が好き、体力、コツコツと仕事ができる忍耐力、判断力、コミュニケーション能力＝③、(9)

・生産技術職：問題に根気強く対応できる忍耐力、周りとの調和できる、コミュニケーション能力＝③

・輸送職：事務処理能力が高い、社内外でのコミュニケーション能力、プレゼン力、情報感度が高い＝③、(7)

・建設職：体力、計画を立てることが得意、几帳面＝(6)

・清掃職：仕事に対する誠実さ、細かい気配りができる、人の役に立つことが好き忍耐力＝(1)、(3)

[まとめ]

社会人基礎力の中でも11の職業に特に求められている能力

※複数該当したものを記載している

③チームで働く力 (1)主体性 (4)課題発見力 (7)発信力 (9)柔軟性

改善策

③チームで働く力

(1)主体性

- ・自ら判断する場面を増やす

例えば、朝ごはんはパンにするかご飯にするか

上記の方法は、教育先進国であるデンマークで行われている

(4) 課題発見力

- ・様々な物事に興味を持つ

(7) 発信力 (9) 柔軟性

- ・原因にコロナウイルスが関係するため、現段階では改善策なし

4 研究の考察

・”社会人基礎力”を高度に身につけた人の文献がない為、社会人を対象とするアンケートを実施することでより正確な情報を入手する。

・今回は発信力と柔軟性については改善策を考え出すことができなかった

- ・社会人基礎力を身につける方法の改善策が複数個挙げられなかった